

佳作
(中学部門)

杉並区立阿佐ヶ谷中学校 (東京都) 1年

おおくぼ みつあき
大久保 光明

桜梅桃季

母

僕が小学校を卒業するときに、母から贈られた言葉です。「桜梅桃季」は仏教の言葉で、梅は桜のような花は咲かせられないが、その実は美味しい。同じように、人もそれぞれ良いところがあるという意味だそうです。

僕は言葉の理解が遅かったため通級をしていました。低学年の頃は友達と遊ぶこともあまりありませんでした。でも小学三年生の頃から急に友達が増えました。理由はわからなかったけど、友達は「優しい。」と言ってくれます。自分の気持ちを伝えるのは得意ではないけど、友達の話聞くのは大好きです。文章問題は苦手だけど暗記は得意です。苦手なことは沢山あるけど「桜梅桃季」―良いところを伸ばしていきたいです。